専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	
スポーツ科学部	准教授	長江　晃生		無

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月日（期間）	概　　要
1　教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）		
バレーボールⅠ	平成26年～	主にゲーム形式を行い、ゲームの中で基本技術を習得できるようにルール設定・調整を行う。
バレーボールⅡ	令和6年～	経験者と未経験者の混合グループを作成して、テーマに沿った指導方法のディスカッションを行った後、発表を行う。その後ゲーム形式を行い実践での活用を目指す。
トレーニング計画	令和3年～	オンデマンド授業として。資料や動画を作成し配信している。毎授業でテストを行い理解度を確認している。
スポーツ技術戦術論	令和2年～	オムニバス形式のオンデマンド授業であり、担当回では、バレーボールの技術習得方法や戦術についての資料や動画を作成し配信している。
コーチング法	令和2年～	オムニバス形式のオンデマンド授業であり、担当回では、バレーボールの技術習得におけるコーチング法についての資料や動画を作成し配信している。
スポーツ教育学演習Ⅰ・Ⅱ	平成26年～	コーチング現場において役立つ知識と指導方法の習得を行う。 ゼミ論文作成を通じて、スポーツを科学的側面から観察し理解を深める。
2　作成した教科書、教材、参考書		
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		

Ⅱ　研究活動

著書（単著）

書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月

著書（共著・分担執筆）

題目／書名	著者／編者	初（始）頁～終頁	発行所	発行地	発行年月

原著論文（審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。）

題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
バレーボールにおけるオリンピアンセッターの実践知に関する研究	五十嵐元,長江晃生,中田学,青木和浩	スポーツ運動学研究 = Japan journal of sport movement and behaviour	36巻	45頁～67頁	令和6年12月

総説

題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月

その他　（「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入）

区分	題名	著者		誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
実践報告	バレーボールのレセプションに関する事例的研究-0大学のレセプション及びレセプションアタックについての年次比較-	共	長江晃生、浅井正仁、柏森康雄□	大阪体育大学紀要	46巻	63頁～75頁	平成27年3月
実践報告	バレーボールのディフェンスパフォーマンスに関する事例的研究-0大学の春秋リーグ戦のブロック及びディグについての比較-	共	長江晃生、浅井正仁、□	大阪体育大学紀要	48巻	25頁～39頁	平成29年3月

実践報告	バレーボールのスパイクパフォーマンスに関する事例的研究 ： 2018年春季リーグ戦におけるスパイク決定率について	共	長江晃生,森祐貴,今井啓介,浅井雅仁□	大阪体育大学紀要	51巻	1頁～8頁	令和2年3月
実践報告	0大学の5年間のスパイクパフォーマンスについての縦断的研究 ： JVIMSデータを利用したスパイク決定率とスパイク決定本数についての分析	共	長江晃生,森祐貴□	大阪体育大学紀要	52巻	15頁～24頁	令和3年3月
実践報告	大学女子バレーボールにおけるディグパフォーマンスに関する一考察	共	森祐貴, 中山雅斗, 長江晃生□	バレーボール研究	23巻	49頁～53頁	令和2年3月
実践報告	″Concentric Rate of Force Development, Squat Strength, and Faster Unloading Associated With Change-of-Direction Performance and Its Deficit in Female Volleyball Players″	共	Naoyuki Yamashita,1 Daisuke Sato,2 Akio Nagae,3 and Takaaki Mishima3□	International Journal of Sports Physiology and Performance		1頁～9頁	令和7年4月

学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等」、「研究会」等区分を記入）

区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名

科学研究費等の取得状況

科学研究費／その他の助成金／外部資金

区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）

特許

特許名称	発明者／出願人	出願日／出願番号	公開番号	取得した場合⇒	公告・特許番号	国

Ⅲ　加入学会および社会における活動

期　　間	内　　容
加入学会	
平成28年～	日本体育学会　会員
社会的活動	
令和6年	バレーボール教室（学内にて週１開催）

Ⅳ　管理活動

期　　間	内　　容
委員会活動	
平成27年～	日本バレーボール協会　強化事業本部科学研究委員会　委員
平成28年～	全日本大学バレーボール連盟　女子強化委員会　委員
平成28年～	関西大学バレーボール連盟　強化指導普及委員会　委員
令和5年～令和6年	関西大学バレーボール連盟　強化指導普及委員会　女子強化委員長
平成29年～	大阪府学生バレーボール連盟　理事
平成30年	日本オリンピック委員会強化スタッフ
令和2年	日本オリンピック委員会強化スタッフ
特別プロジェクト活動	

Ⅴ　クラブ活動の指導業績

１．指導クラブ名	女子バレーボール　　部	２．役職	2016～　監督	３．部員数	26　人
４．現場指導の頻度	①	① ほぼ毎日　② 週３日　③ 週１日　④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導　⑤ 全く関与していない			

５．合宿指導	年間合宿回数：　2　回	延べ日数：　10　日	

６．クラブの競技力向上への取り組み	①	①積極的に取組んでいる　②ある程度取組んでいる　③あまり取組んでいない　④全く取組んでいない
７．クラブの教育及び部員の学習への取り組み	①	①積極的に取組んでいる　②ある程度取組んでいる　③あまり取組んでいない　④全く取組んでいない
８．部員の就職指導への取り組み	②	①積極的に取組んでいる　②ある程度取組んでいる　③あまり取組んでいない　④全く取組んでいない

９．年間の引率公式大会名	大　会　名	期　　間	場　　所
	関西大学バレーボール連盟春季リーグ戦	4月～5月	関西
	西日本バレーボール大学女子選手権大会	6月	大阪、兵庫、広島
	関西大学バレーボール連盟秋季リーグ戦	9月～10月	関西
	関西バレーボール大学女子選手権大会	11月	関西
	全日本バレーボール大学女子選手権大会	12月	東京

１０．クラブ戦績　（全日本選手権８位以上、関西選手権４位以上、関西１部リーグ３位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。）

開　催　期　間	大　会　名	成　　績	場　　所
平成28年12月	天皇杯・皇后杯・全日本バレーボール選手権大会	ベスト１６	東京

Ⅵ　賞罰（職務に関する賞罰）

年　　月	受賞等機関名	内　　容	備　　考
2025年3月	日本スポーツ運動学会	奨励賞	